

総合研究機構誌『プロジェクト研究』執筆要領

早稲田大学総合研究機構
審査選考委員会

<執筆要領について>

研究論文、研究ノートおよび研究活動報告の執筆に際して、準拠してください。

なお、学会誌等で定着している執筆要領があり、本執筆要領と細部で異なる場合は、著しい相違がない限り学会誌等で定着している執筆要領に基づく執筆も可とします。

<掲載決定後の注意>

掲載が決定した際には、掲載原稿のデータをメール添付で提出してください。なお、校正段階での修正は、印刷上の誤りや不備の訂正のみとします。執筆者の校正は原則として初校のみとします。

<目次>

1. 原稿の構成	1
2. 表紙	1
3. 要旨	1
4. 本文	1
5. 文末注の表記	2
6. 参考文献	2
7. 文献表記の事例	3
8. 図表の作成	4

1. 原稿の構成

(1) 原稿は、下記 6 点を電子ファイルで作成すること。

- ①表紙
- ②要旨
- ③本文
- ④文末注
- ⑤参考文献
- ⑥図表

2. 表紙

- (1) 題名、研究所名、氏名、投稿区分を記載すること。
- (2) 題名は、必要に応じて英文タイトルや副題を記載すること。
- (3) 氏名には、所属する研究所での資格を併記すること。
- (4) 投稿区分は、研究論文、研究ノート、研究活動報告のいずれかを記載すること。

3. 要旨

(1) 日本語要旨 800 字以内、英文要旨 250 語以内、キーワード 5~10 個を記載すること。

4. 本文

(1) 基本構成

- ・冒頭に題名および氏名を記載すること。
- ・章、節、項は、それぞれ以下の要領で番号をふり（ローマ数字の使用や、数字のない章立ては避ける）、MS ゴシックで表記すること。

<例示>

1. はじめに
2. 先行研究
3. 理論フレームワーク
4. 分析デザイン
 - 4.1 — — — —
 - 4.1.1 — — — —
 - 4.1.2. — — — —
 - 4.2 — — — —
5. 分析結果
 - 5.1 — — — —
 - 5.2 — — — —
6. おわりに

※文末に【注】および<参考文献>を記載する。

(2) 文章表記

- ・横書き、新かなづかい、新字体使用を原則とする。当用漢字を中心とし、むずかしい漢字は避ける。

- ・本文の句読点は、原則として、句点（。）と読点（、）とを併用する。
- ・傍点は当該する文字の上に打つ。
- ・和文、漢文では、引用文には「」や『』を使用し、クォーテーション・マーク（“”や“”）は避ける。

（3）数字の表記

- ・原則として算用数字を使用する。和数字の使用は熟語・成句・固有名詞に限る。
 - （例1）1つ、1点、1人当り3g、第2に、第2次世界大戦、前2者、2通り、5・15事件、16～7世紀、3・4日
 - （例2）一定、均一、一致、一般、一応、一義的
 - （例3）第1四半期、第2四半期
- ただし、以下は上記（1）の例外とする。
 - *概数にあつては、和数字を用いる。
 - （例4）数十日間、数百キログラム、百数十ページ、何千人
 - *化合物の名称には和数字を用いる。
 - （例5）一酸化炭素、四三酸化鉄
- ・大きな数字を使うときは、兆・億・万の単位語を入れた方が読みやすい（この際は、位取りカンマは使用しない）。
 - （例6）38億8823万人、7万6000人
- ・O（オー）と0（ゼロ）、1（エル）と1（イチ）は、区別が付きにくい活字を使用した場合のみ、その区別を欄外に明示すること。

（4）数式

- ・原則として変数はイタリック表示とする。
 - （例） x, y, z, X, Y, Z
- ・ベクトルはゴシック表示にする。
 - （例）**a, b, c; A, B, C:**
- ・数式を1行に詰めすぎないようにする。
- ・複雑な添え字(suffix)はできるだけ避ける。

5. 文末注の表記

- （1）注は文末にまとめる。また内容注のみとし、引用箇所を表示は注ではなく本文中で行う。
 - （例）「……」というのが、大隈大学の見解である（大隈 1997:36）。
……などと解釈されている（○○ 2000；○○ 2001）。

6. 参考文献

- （1）参考文献（通常の出版物、雑誌論文）は、文末注に続けて、著者氏名のアルファベット順のリストの形で作成する（注での文献表示は避ける。ただし統計報告書・新聞・政府文書等はこの限りではない）。文献リストには通し番号はつけない。
- （2）文献は、著者氏名のアルファベット順で整理すること。

- (3) 書物名・雑誌名は、日本語・中国語等の場合は『 』、ヨーロッパ語ではイタリックとすること。
- (4) 論文名は、日本語・中国語等の場合は「 」で囲む。
- (5) 文献は次の順序で表記する。詳細は「11. 文献表記の事例」を参照すること。

単行本：著者（編者）名、発行年、書物名（副題とも）・版、発行地、発行所

論文：著者名、発行年、論文名、収録書物の著者（編者）名、収録書物名（または雑誌名）、巻数、号数、ページ数。

ただし、発行地、発行所、巻数、号数、発行年月のうち、不必要なもの—例えば《東京：岩波書店》は単に《岩波書店》として差し支えない—は省いてもかまわない。発行地や発行所が2箇所以上の場合、最初に表示されている発行地とこれに対応している発行所を記入する。

- (6) 本文中に引用する場合は、名字のあとに発表年を丸カッコ（ ）で囲って入れる（各文献には通し番号をつけない）。

（例）秋本（2000）

Sabcdez and Labcdz（1999:655）

7. 文献表記の事例

(1) 和文献

論文

〇〇〇〇・〇〇〇〇.1999.「△△崩壊後の選択；リスク要因の上昇と Entrenchment の後退」『△△アナリスト協会』37(3):3-18.

〇〇〇〇.2003.「△△報告をめぐる国際的動向と△△研究の課題」『会計』163(2):223-240.

著書

1. [単著・共著] の場合

〇〇〇〇・〇〇〇〇・〇〇〇〇・〇〇〇〇.1998.『△△のマイクロストラクチャー△△形成メカニズムの△△分析』△△社.

〇〇〇〇.1997.『解釈的△△研究』第3版 △△書房.

2. [編著] の場合

〇〇〇〇編著.1987.『実証 △△情報と△△』△△館.

3. 単行本の一部を担当している場合

〇〇〇〇.2001.「クロスボーダー△△と国際化戦略」〇〇〇〇編著『△△経営の M&A 投資』△△経済社:113-134.

(2) 英文文献

論文

Jzzzzz, J. L., T. zzzzzz, J. A. Czzz, and N. Ozzz. 1993. The Exercise of Interfirm Power and its Repercussions in U.S.-Japanese Channel Relationships. *Journal of Marketing*. 57(2):1-10.

Szzzzz, T. and A. Y. Lzzz. 1999. Impact of CEO Succession in Japanese Companies: A Co-evolutionary Perspective. *Organization Science*. 10(5):654-671.

Szzzi, H. 1996. Two-Sided Matching Problems with Externalities. *Journal of Economic Theory*. 70(1):93-108.

著書

1.[単著・共著]の場合

Kzzzzz, N. and E. Dzzz. 1993. *Education and Training in the Development of Modern Corporations*. Tokyo: University of Tokyo Press.

2.単行本の中の一部を担当している場合

Izzz, A. 2000. Economists and Economic Policies. in Hisatuka, A. ed. *Japanese Economics and Economists since 1977*. London: Routledge:123-145.

3.日本語訳がある場合

Lev, B. 2001. *Intangibles: Management, Measurement, and Reporting*. London: Brookings Institution Press (〇〇〇〇・〇〇〇〇訳. 2002. 『△△の経営と△△分析』 △△経済報社).

※ 上記の例に該当しない場合は、Chicago Manual を準用すること。

8. 図表の作成

- (1) 図表は、本文中には挿入せず、挿入したい位置に通し番号およびタイトルを記載すること。
通し番号は、本文全体を通した番号を付けること。

<例示>

図1. タイトル

図2. タイトル

表1. タイトル

表2. タイトル

- (2) 本文とは別に、1 ページにつき一つの図表を作成すること。

- (3) 最終稿の提出時に以下の2点を提出すること

1. スキャン用のハードコピー

※縮小しても線の区別や文字が問題なく読めるような、できるだけ鮮明なプリントアウト
(レーザープリンタで印刷したもの)。

2. 図表の元データ (エクセル、jpeg、bitmap 等。)

以 上